



島根労働局発表
令和3年6月25日（金）

	島根労働局職業安定部職業対策課	
担	職業対策課長	後藤 宏光
	障害者雇用担当官	山本 章
当	TEL 0852-20-7021	

令和2年度ハローワークを通じた島根県内の 障害者の職業紹介状況等

島根労働局（局長 倉持 清子（くらもち きよこ））は、令和2年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

ポ イ ン ト

- 新規求職申込件数は1,592件（前年度1,671件）で、対前年度比4.7%（79件）の減となり、また、就職件数は915件（前年度998件）で、対前年度比8.3%（83件）の減となった。
- 就職率（新規求職申込件数に対する就職件数の割合）は57.5%（同2.2ポイント減）となった。

	新規求職申込件数				就職件数			
	元年度	2年度	対前年度	前年度比	元年度	2年度	対前年度	前年度比
身体障害者	342件	281件	61件減	17.8%減	161件	115件	46件減	28.6%減
知的障害者	268件	269件	1件増	0.4%増	203件	169件	34件減	16.7%減
精神障害者	899件	810件	89件減	9.9%減	518件	482件	36件減	6.9%減
その他の障害者※	162件	232件	70件増	43.2%増	116件	149件	33件増	28.4%増
合 計	1,671件	1,592件	79件減	4.7%減	998件	915件	83件減	8.3%減

- 産業別の就職件数は、多い順に、「医療、福祉」（構成比22.5%）、「卸売業、小売業」（同19.9%）、「製造業」（同11.9%）などとなった。
- 職業別の就職件数は、多い順に、「運搬・清掃・包装等の職業」（構成比27.2%）、「事務的職業」（同17.4%）、「サービスの職業」（同16.8%）などとなった。

※ 「その他の障害者」とは、発達障害者、難治性疾患患者、高次脳機能障害者等である。

令和2年度障害者の職業紹介状況等

島根労働局

1 新規求職申込件数

新規求職申込件数は、前年度比4.7%減の1,592件（前年度1,671件）となりました。

障害種別でみると、身体障害者は17.8%減の281件（同342件）、知的障害者は0.4%増の269件（同268件）、精神障害者は9.9%減の810件（同899件）、発達障害者は120.3%増の152件（同69件）、難治性疾患患者は14.9%減の63件（同74件）、高次脳機能障害者は450.0%増の11件（同2件）となっています。

【表1】 新規求職申込件数の障害種別状況

（単位：件：%）

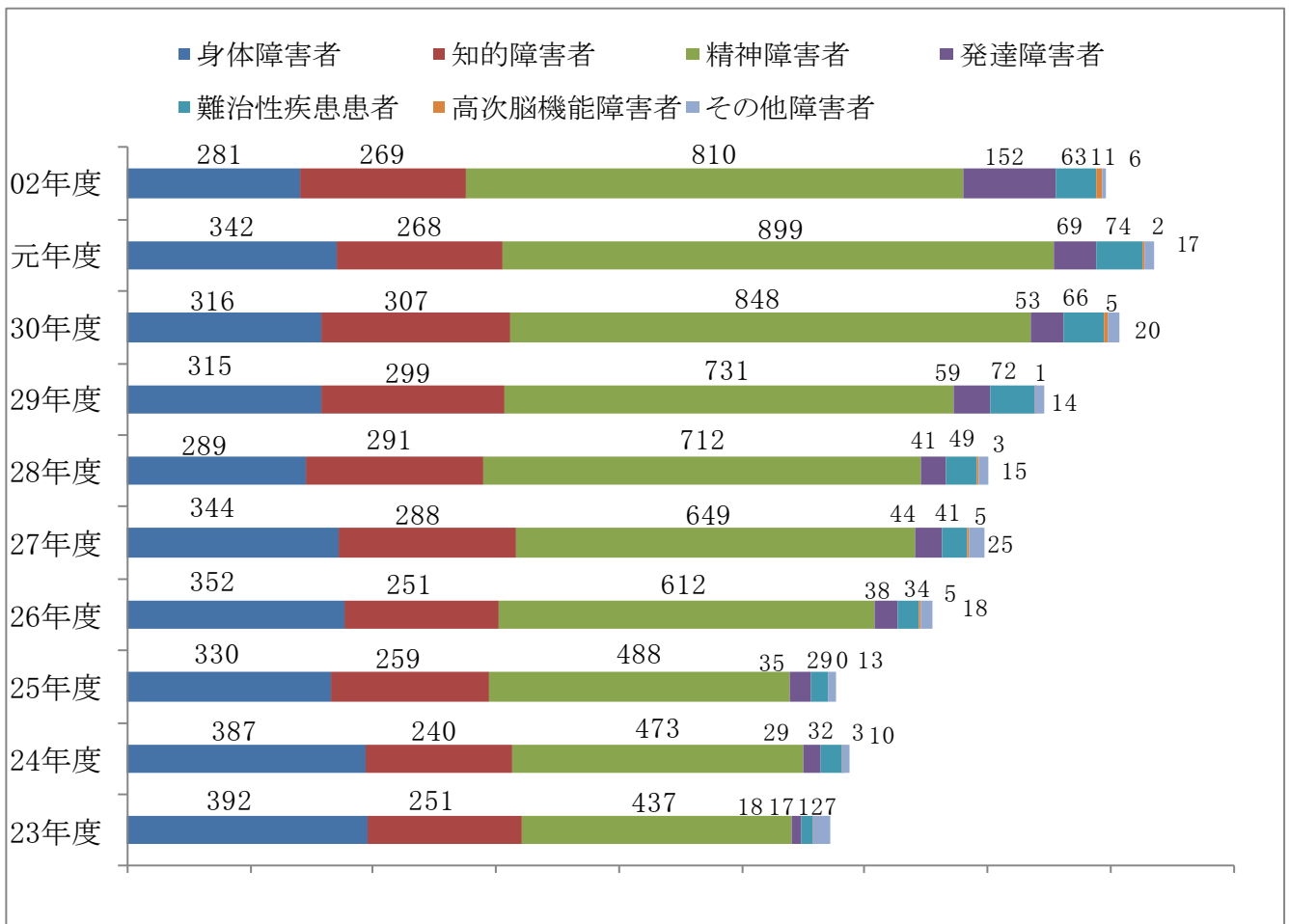
	新規求職申込件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※	
令和2年度	281	269	810	152	63	11	6	
令和元年度	342	268	899	69	74	2	17	
前年度比	▲ 4.7	▲ 17.8	0.4	▲ 9.9	120.3	▲ 14.9	450.0	▲ 64.7

※「その他障害者」とは、精神3疾患（統合失調症、そううつ病、てんかん）以外の精神疾患で精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていない者又は身体障害者障害程度等級が7級の者等である。【表2】同様。

※発達障害者については、令和2年1月のハローワークシステム刷新の影響により、障害者手帳を所持する方も一部計上されている。【表2】同様。

【グラフ1】 新規求職申込件数の障害種別状況

（単位：件）



2 就職件数

ハローワークを通じた障害者の就職件数は、前年度比 8.3%減の 915 件（前年度 998 件）となりました。

障害種別でみると、身体障害者は 115 件で前年度比 28.6%減（前年度 161 件）、知的障害者は 169 件で同 16.7%減（同 203 件）、精神障害者は 482 件で同 6.9%減（同 518 件）、発達障害者は 98 件で同 104.2%増（同 48 件）、難治性疾患患者は 36 件で同 30.8%減（同 52 件）となっています。

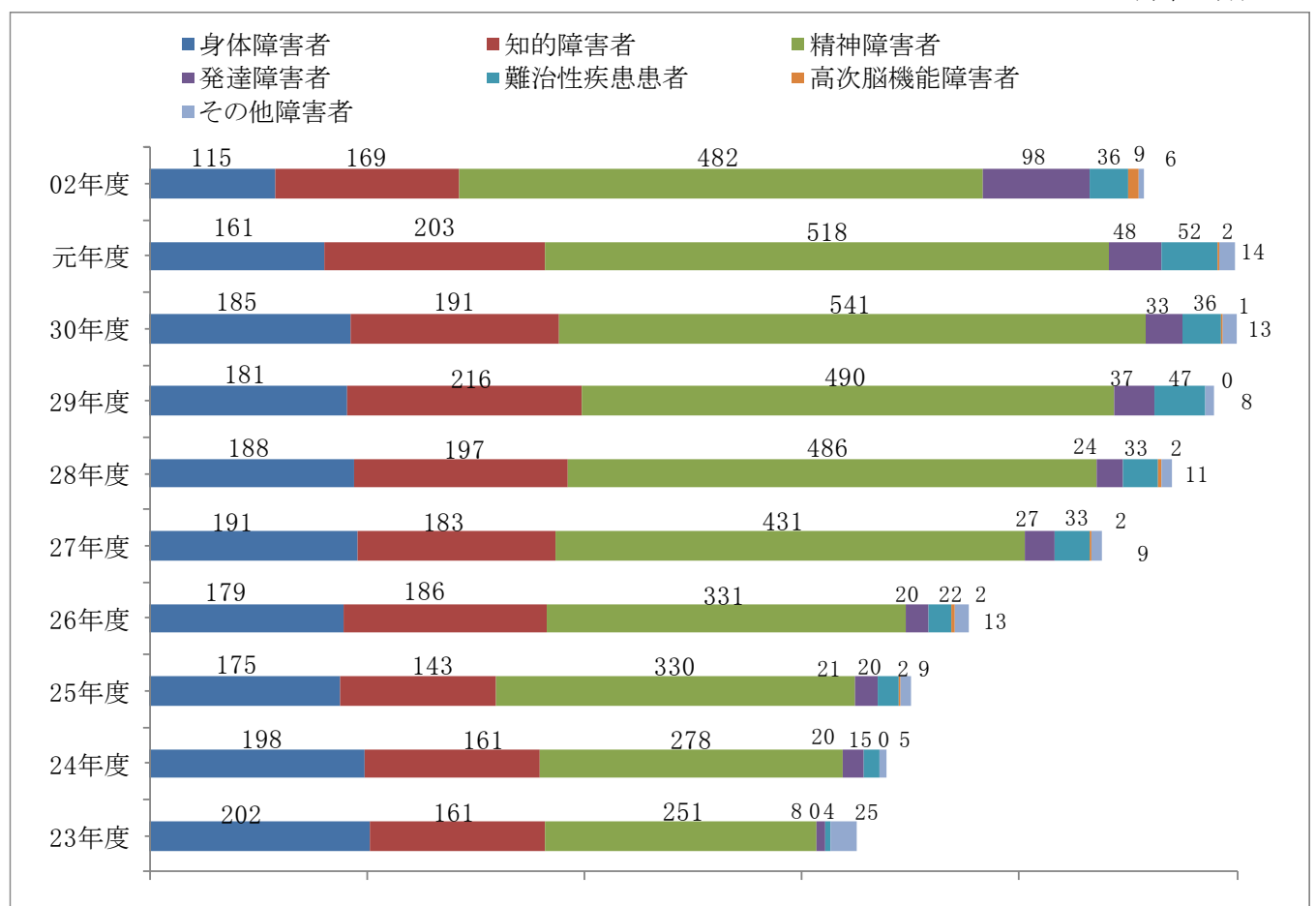
【表2】 就職件数の障害種別状況

(単位:件:%)

	就職件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※	
令和2年度	915	115	169	482	98	36	9	6
令和元年度	998	161	203	518	48	52	2	14
前年度比	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 6.9	104.2	▲ 30.8	350.0	▲ 57.1

【グラフ2】 就職件数の障害種別状況

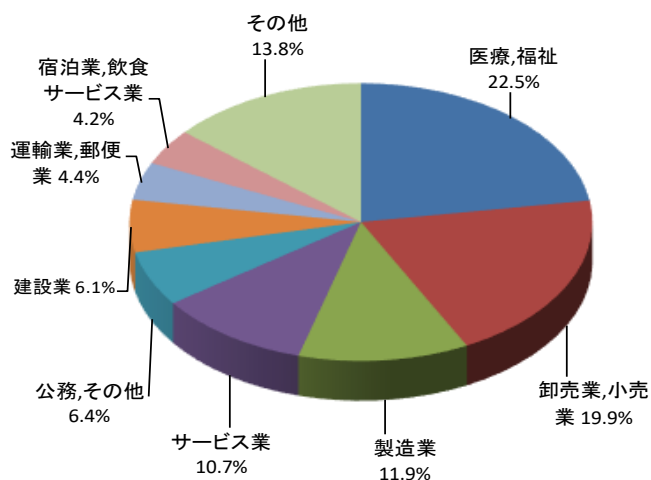
(単位:件)



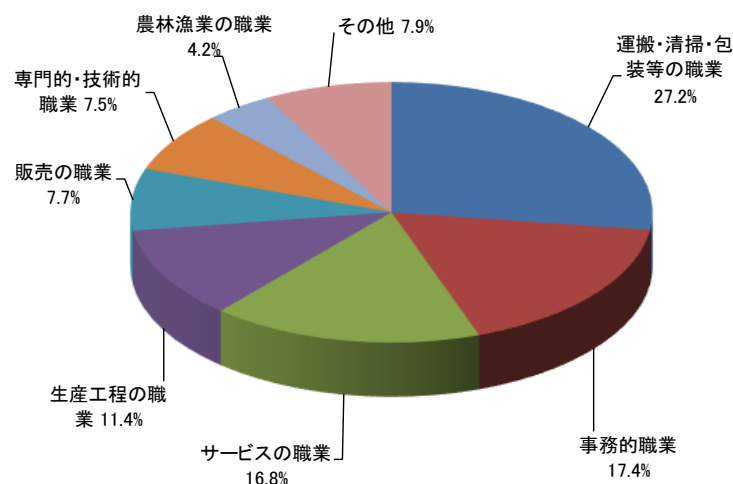
就職件数を産業別にみると、「医療,福祉」が最も多く全体の22.5%、次いで「卸売業,小売業」19.9%、「製造業」11.9%の順となっています。

職業別では、「運搬・清掃・包装等の職業」が最も多く全体の27.2%、次いで「事務的職業」17.4%、「サービスの職業」16.8%の順となっています。

【グラフ3】産業別就職状況



【グラフ4】職業別就職状況



3 解雇者数

令和2年度の解雇者数は34人となっており、前年より28人増加しました。解雇理由は全て事業廃止・縮小によるものとなっています。

【表3】解雇者の状況

(単位:所:%)

	①解雇届提出があった事業所数	②解雇者数		③解雇理由				④障害種別		
		うち派遣	事業廃止	事業縮小	その他	身体	知的	精神		
令和2年度	13	34	0	15	19	0	7	15	12	
令和元年度	5	6	0	3	3	0	3	3	0	
前年度比	160.0	466.7	-	400.0	533.3	-	133.3	400.0	-	

【グラフ5】障害者解雇者数の推移

(単位:人)

